

商学部における特色ある学部教育の補助「見学調査」 報告書

テーマ								
科目名	国際教養演習Ⅰ・Ⅱ							
担当教員	山浦 アンヘラ							
調査先	コロンビア大使館及びコロンビアコーヒー生産者連合会							
調査日	2025年11月26日(水)							
参加学生数	1年生	名	2年生	名	3年生	3名	4年生	名

調査の趣旨（目的）

国際教養演習Ⅰ・Ⅱでは、学生が国際社会に関する複眼的な視点を身につけることを目的としており、本年度はコロンビア共和国を主たる調査対象国として研究を進めている。本調査は、駐日コロンビア大使館およびFNC（コロンビアコーヒー生産者連合会）日本事務所を訪問し、外交関係、経済交流、文化面での協力、およびコーヒー産業に代表されるコロンビア経済の実態について、専門家から直接知見を得ることを目的とする。

これにより、講義や文献調査のみでは得難い現場の視点を学生が理解し、研究の質および実践的理解を深めることを目指す。

調査結果

1. 駐日コロンビア大使館で得られた知見

（1）日コ両国の外交関係の現状と重点分野

特命全権公使級のご担当者より、コロンビアと日本の外交関係の歴史的背景と、現在の重点協力分野について説明を受けた。特に、以下の点は学生にとって重要な学びとなった。

日本はコロンビアにとってアジア地域における主要な経済パートナーであり、技術協力・教育・文化交流が継続的に発展していること。

平和構築支援、環境保全、開発協力（JICA等との連携）が近年強化されていること。

観光、スタートアップ支援、文化発信を通じた民間レベルの交流も増加していること。

2. FNC（コロンビアコーヒー生産者連合会）日本事務所で得られた知見

（1）コロンビアコーヒー産業の概要と強み

専門スタッフより、コロンビアコーヒーの生産体制、品種、地域特性（テロワール）、品質管理の仕組みについて詳しい説明を受けた。特に下記の点が明確になった：

コロンビアの小規模生産者が中心となる生産構造と、その品質を支えるFNCの技術・研究支援。

スペシャルティコーヒー市場におけるコロンビア産の国際的評価の高さ。

生産から輸出までのトレーサビリティや、地理的表示（DO）保持の取り組み。

